


万九千社 立虫神社
社報

神戶の郷

第九〇号 令和六年秋「発行」

令和六年九月吉日 代宮家 (錦田)



今季の祭 立虫神社 秋祭り

たいへんな猛暑が続く夏でしたが、皆様如何お過ごしでしょうか。季節は早いもので実りの秋を迎えようとしています。まもなく恒例の二日間にわたる秋祭りを皆様共々心を込めてお仕えしたいと存じます。この祭りは、稲をはじめとする農

一、前夜祭

・深津一統祭 午後六時より
・竹内一統祭 午後七時より

立虫神社へ合祀された千家の客神社にゆかり深い氏子の竹内一統、古くから万九千社にゆかりある神立の深津一統が昇殿参拝します。一統挙げて感謝と祈りを捧げます。

十月六日(日)

一、大祭

秋祭奉祝祭並びに「平成の御遷宮」十周年記念奉告祭

午前十時より

秋祭りでも最も重要な祭典です。宮司はじめ神職・総代・神社委員ほか氏子の代表が昇殿し、厳かに御奉仕します。

作物が豊かに収穫できたこと、農業をはじめ、工業、商業など全ての産業が順調に運んでいること、日々の平和などを氏神さまに感謝し、これからもお護りいただくようにお祈りするお祭りです。氏子地域に住む全ての人々が心を合わせて奉仕する、立虫神社にとりましては一年でも最も重要なお祭りです。「大祭」と呼ばれます。なお、神さまから見れば、縁あって、併川に暮らす全ての人々が「氏子さん」です。どなたでも遠慮なくお参りいただき、神さまに感謝と祈りを捧げましょう。

十月五日(土)

一、長寿感謝 健康祈願祭

午後一時より

長寿を祝い、神さまに感謝して、これからの健康をお祈りします。

御神前に海川山野のたくさんのお供え物をして、氏神さまをおもてなしし、宮司が祝詞を奏上し、皆が玉串を捧げて感謝の気持ちをお伝えして人々の幸を祈ります。また、今年は、平成二十六年十月十日齋行の「平成の御遷宮」から満十年を迎えます。それを記念し奉告祭も併せて行い、御神威の益々の発揚を祈ります。

※※氏子さんのお供え、米つなぎ
当番の方は、午前七時半〜九時
五十分頃までに神社へお参りの
うえ、お供え下さい。

一、御神幸 禊練り神事

午後一時頃より

千家公民館にてお祭りの後、御神輿を中心とする行列が出発。途中で千家の客神社の元宮へ立ち寄って一同そろって拝礼します。

数え年七〇歳以上のどなたでも参列できますので、詳しくは別紙案内状をご覧のうえ、社務所へ直接お申し込み下さい。お気軽にお詣り下さい。

一、子禊神事 一、氏子入り奉告祭

午後二時より

令和五年八月一日から今年の七月三十一日頃までに誕生された神立千家の子供さんとその家族が参拝し、新たな氏子として健やかな成長をお祈りします。



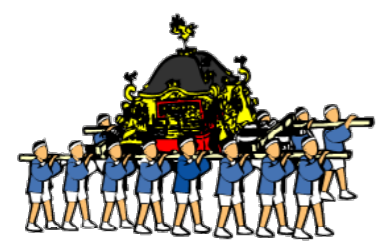
また、昨年の秋祭り以後、新たな氏子として登録された皆様にも昇殿いただき、御神前にその旨を奉告し、末永い幸せを祈ります。※当該の方は、平服(スーツネクタイ等)で時刻までに御参集下さい。

今年は北回り。道中では家の新築や改築、子どもの誕生や結婚など慶事のあつた家々に立ち寄り、獅子舞の拝をしてお祝いし、さらなる繁栄を祈ります。「門(かど)づけ祝い」とも呼びます。ご希望の方は遠慮なくお申し出ください。およそ午後五時頃に神社へ帰着、還幸祭を行います。

一年に一度、御神輿に遷られた氏神さまの御霊が、神立千家の地にお出ましになられます。

皆の暮らしや地域の繁栄ぶりをご覧になり、穏やかで幸の多い暮らしへとおかげを授けられる神事です。練り歩く行列の先導役は、悪霊を祓い、大地を鎮めようと、青竹を振り回して

走り回る
番内さん。
幸多かれ
と御神酒
をふるま
う茶立姫。



無病息災を祈願し、恐い顔でゆつくり進む御獅子：皆おなじみの顔触れです。

主役の氏神さまは、神和会、千親会をはじめ、小学一年生が心を込めておひきする御神輿にのって進まれます。

夕方、神社へ到着すると、氏神さまの御霊は本殿へとお還りになり、御獅子の拝が行われます。

そして、出雲

神楽が舞納められる午後五時半頃には、お待ちかねの



「お餅撒き」、 「神事華くばり」

となり、午後六時前には秋祭りは最高潮を迎えてお開きとなります。お楽しみに！！

一、神楽奉納

午後一時半頃より夕刻

◆午後一時半頃、出雲神楽

万九千社立虫神社神代神楽社中

※氏子小学生有志の

子供神楽「剣舞」奉納も！！

◆午後三時二〇分頃、

『浦安の舞(うらやすのまい)』

神立千家氏子小学生女子有志



◆午後四時頃、保育園の神楽

『すさのおの命のやまたのおろち退治』

あい川保育園社中

◆午後五時頃、出雲神楽舞納め

万九千社立虫神社神代神楽

『八戸』須佐之男命の八岐大蛇退治



《あとがき》
神和会、千親会、浦安の舞や子供神楽を舞う小学生の子供達、あい川保育園の皆さん、神楽保存会、氏子総代、神社委員、全て

の氏子の皆様の奉仕で秋祭りはきっと成就します。▼あの「平成の御遷宮」から早いもので十年が経ちました。「おかげさま、ありがたや」の言葉の意味と言霊を身に染みて感じ、涙した一大行事でした。▼御遷宮は単なる社殿の竣工記念式典ではありません。神様がこの地に祀られた原初の姿に立ち戻ること、神威はいよいよ栄え、お宮も地域も人々も生命は、はつらつと輝きを増して蘇るといふ深い意味があります。▼さあ、秋祭りです。初心に戻って真心込めて奉仕してまいります。秋晴れとなりますように：

(文責 宮司 錦田剛志)

万九千神社『令和の森づくり』事業 境内北側拡張・お祭り広場整備に用いるため

お家で使われなくなった庭石、 礎石、石垣などの大小岩石や 樹木類を探しています！！



皆様のお知り合いに、石や樹木の引き取り手をお探しの方がいらっしゃれば、ぜひご紹介ください。

当方の森づくりの整備計画と諸条件にかなうものを御奉納いただける場合、こちらから大型運搬車で受け取りにまいります。当然、運送費用は当社の基金が負担致します。

未来に受け継ぐ鎮守の森づくりのため、皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひします。

【連絡・お問い合わせ先】

〒699-0615 出雲市斐川町併川258番地
万九千神社社務所
電話0853-72-9412